

4

鉄道事故等と再発防止

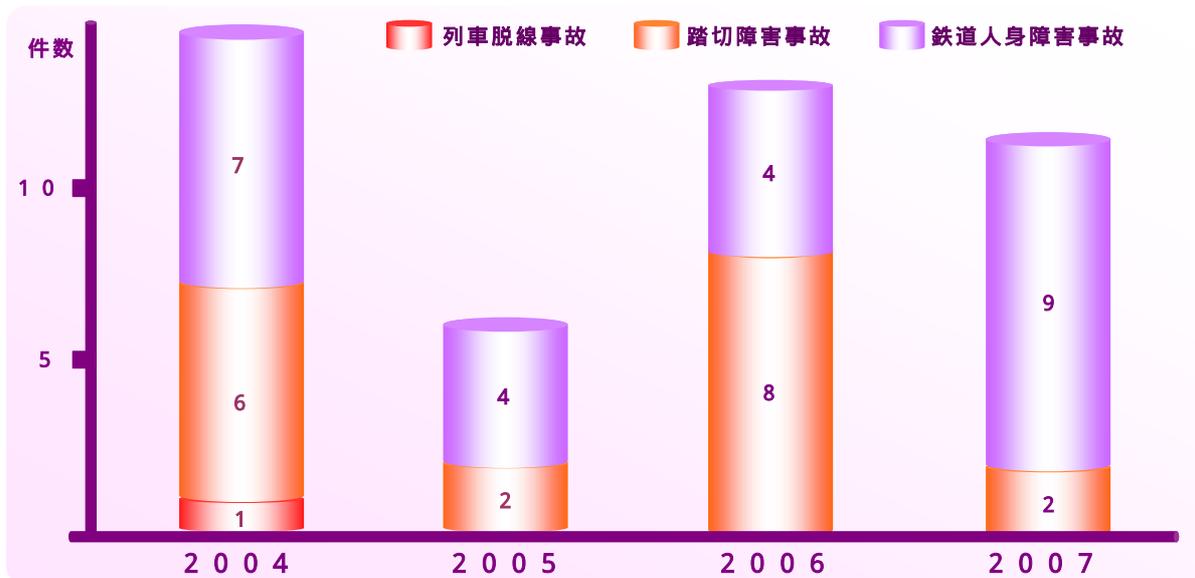
2008年安全報告書 阪急電鉄株式会社

過去4年間の鉄道運転事故、輸送障害、インシデント（鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態）は、以下のとおりです。

4-1 鉄道運転事故

踏切障害事故や鉄道人身障害事故は、踏切道における無謀な直前横断（人・自転車・バイク・自動車等）や踏切道以外において線路内に立入る等したもので、有責事故は発生していません。また、鉄道運転事故は下記の分類のように7種類になりますが、過去4年間では、下表3種類以外の事故は発生していません。（件）

分類	年度	2004	2005	2006	2007
鉄道運転事故	列車脱線事故（うち自動車によるもの）	1（1）	0	0	0
	踏切障害事故（うち自動車によるもの）	6（2）	2	8	2
	鉄道人身障害事故	7	4	4	9



鉄道運転事故の分類

- 列車衝突事故** 列車が他の列車または車両と衝突、または接触した事故。
- 列車脱線事故** 列車が脱線した事故。
- 列車火災事故** 列車に火災が生じた事故。
- 踏切障害事故** 踏切道にて列車または車両が道路を通行する人または自動車等通行する車両等と衝突、または接触した事故。
- 道路障害事故** 踏切道以外の道路にて、列車または車両が道路を通行する人または自動車等通行する車両等と衝突、または接触した事故。
- 鉄道人身障害事故** 列車または車両の運転により人の死傷を生じた事故（前各号を除く）。
- 鉄道物損事故** 列車または車両の運転により500万円以上の物損を生じた事故（前各号を除く）。

4-2 インシデント

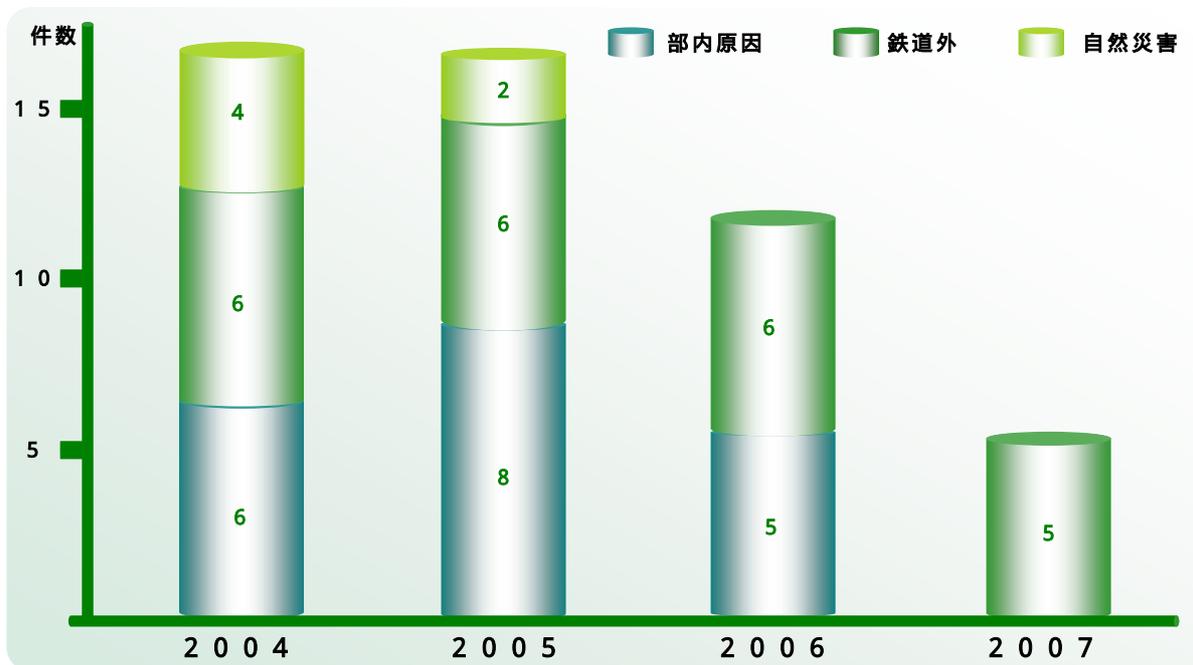
2007年度は、インシデント(鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態)の発生はありませんでした。なお、2005年度以前のインシデントは、すべて対策を実施しています。

分類	年度	2004	2005	2006	2007
インシデント		1	2	0	0

4-3 輸送障害

「輸送障害」とは、鉄道による輸送に障害を生じた事態であって、鉄道運転事故以外のものをいいます。車両や設備の故障等により列車が遅れたような部内原因につきましては、すべて対策を実施しています。

分類	年度	2004	2005	2006	2007
輸送障害	部内原因 (鉄道係員・車両・施設等)	6	8	5	0
	鉄道外 (第三者行為・沿線火災等)	6	6	6	5
	自然災害 (風害・雪害・落葉・倒木等)	4	2	0	0



4-4 行政指導等

神戸線を走行する回送列車において、運転士が無資格の車掌に一部区間を運転させる事態が発生し、近畿運輸局から警告を受けました。

これを機に、鉄道従事員としてのみならず社会の一員として原点に立ち返り、日々の行動の一つひとつがお客様の信頼回復に繋がることを肝に銘じて、社員教育に取り組んでいます。

1 近畿運輸局 警告書

無資格運転の防止について

「運転士が無資格である車掌に列車の操縦を任せるという安全輸送の根幹に係わる極めて重大な違反行為が行なわれていたことは、安全輸送を最大の使命とする鉄道事業における社会的信頼を著しく失墜させるものである。国土交通省令に違反するものであり、再発防止対策を講じるよう厳粛に警告する」との警告書を拝受しました。



2 社内対応

1 発生日時

2007年8月7日(火)0時27分～29分、0時32分～38分

2 運転区間

神戸本線 春日野道駅～六甲駅間、六甲駅～夙川駅間

3 当該列車

回送列車(三宮駅0時25分発・西宮北口駅0時43分着)

4 再発防止策

・達示の発行

都市交通事業本部長達・鉄道営業部長達・運輸課長達・運転係長達

・現場巡視

取締役社長・都市交通事業本部副本部長(安全統括管理者・当時)・鉄道営業部長(車両管理者)・鉄道営業部部长(運転管理者)が乗務区だけでなく工場や車庫等の現場への緊急巡視を行い、事故の周知と法令遵守を徹底しました。

・出勤時の注意喚起及び個人懇談指導

全乗務員972名に対して実施しました。以降も安全運転推進運動等の機会に懇談指導を実施しています。